

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学高度モビリティ研究所の新設について

本学では、2015年2月に石川県珠洲市で国内の大学では初の試みとなる一般公道での自動運転実証実験を実施しました。その後、2021年3月までに、金沢市や小松市、北海道網走市のほか東京臨海部などでの公道実証実験を重ね、現在、全国各地で6年間を超える公道走行実証を実施するなど国内の大学では類例のない走行実績を有するようになりました。

この度、本学の自動運転にかかる技術の高度化・拡充化を図るとともに、地域経済学、都市工学、社会医療学などと連携して次世代モビリティ社会の実現を目指した新研究所を学内組織を再編して新設することとなりました。

ついては、高度モビリティ研究所の新設にあたり、実験車両の展示および学長、研究所長などの記念撮影などを行いますので、当日の取材につきよろしくお願ひします。

※取材時は、検温の上、マスクを着用してください。また、取材記者・同行者数も最小人数となるように配慮をお願いいたします。

- 日時 令和3年4月1日(木) 15:30～16:00
- 場所 金沢大学自然科学本館前広場（角間キャンパス）
- 内容
 1. 実験車両展示・案内
 2. 学長、所長ほか関係教員記念撮影
 - ※学長などにぶら下がり取材・インタビュー対応可能です。
 - ※当日は実車の走行はありません。
- 出席者 山崎 光悦 学長
和田 隆志 研究・社会共創担当理事副学長 兼 高度モビリティ研究所長
菅沼 直樹 高度モビリティ研究所教授 他
- 参考 金沢大学計測制御研究室 <http://its.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



(参考動画) 本学公式 YouTube
「自動運転技術！道の先にあるものは！？」

【本件照会先】
金沢大学理工系事務部総務課 渡辺
TEL：076-234-6809
E-mail：rikosomu-kacho@adm.kanazawa-u.ac.jp

【広報担当】
金沢大学総務部広報室 本田
TEL：076-264-5024
E-mail：kohoh@adm.kanazawa-u.ac.jp

目標: 新たな研究所を中心とした産学官連携により、次世代のモビリティ社会を実現!



2015年2月以降の公道走行実績!

国際的にも評価が高い研究成果!



超スマート社会実現のためスーパーシティ構想の推進 (内閣府)

- ・市街地でのレベル4相当の自動運転自動車
- ・道路整備・通信設備等のインフラ
- ・最先端の自動運転技術



金沢大学が培ってきた自動運転技術の高度化・拡充化 + 異分野横断・融合したモビリティサービスや社会創造

高度モビリティ研究所の構成と学外との連携

- ・ 自動運転技術を核として交通事故のない安心・安全な社会を実現し、人と賢く調和したやさしい街を創出
- ・ オープンイノベーションにより新たな価値を創造し、社会課題の解決を図る
- ・ 自動運転を実現するために人との調和を創出する知能と技術 (AI、IoT、ICT) を深化



アカデミアのオープンな研究体制の活用

政府・地方自治体

- 実証実験の積極的推進
- インフラの在り方提言
- まちづくりへの反映

学内

- 専任教員の配置
- 兼任教員として研究開発に参画
- 分野融合研究
- 専門人材育成

企業等

- 共同研究、受託研究の実施
- 共同研究講座・寄附研究部門の実施
- クロスアポイントメント制度による人材交流
- 若手研究者の共同研究への参画
- 大学院生のインターンシップ派遣
- 専門人材確保

国内連携大学・研究機関

- リサーチプロフェッサー等の招聘
- 若手研究者、大学院生の指導等
- 共同研究の実施

海外連携大学・研究機関

- リサーチプロフェッサーの招聘
- 若手・中堅研究者、大学院生の相互派遣
- 若手研究者、大学院生への指導
- 共同セミナー・シンポジウム

研究所長

- 次世代モビリティサービス部門**
次世代モビリティサービスを活用した高付加価値サービスの創造
- 自動運転技術部門**
高信頼認知判断技術の構築
- 認識技術部門**
次世代センシング・認識基盤技術開発
- 先進車両技術部門**
乗員の乗り心地・安心感向上
- 未来社会創造部門**
ビジネスモデルと社会課題の検討

学内教員・大学院生
企業研究者・技術者の参画

高度自動運転社会を実現

- 乗員の乗り心地・安心感向上
- 認識技術の高度化
- 認知判断技術の高度化
- ビジネスモデルと社会課題解決
- 未来社会の創造

先端研究・社会課題解決・未来社会創造を強力に推進